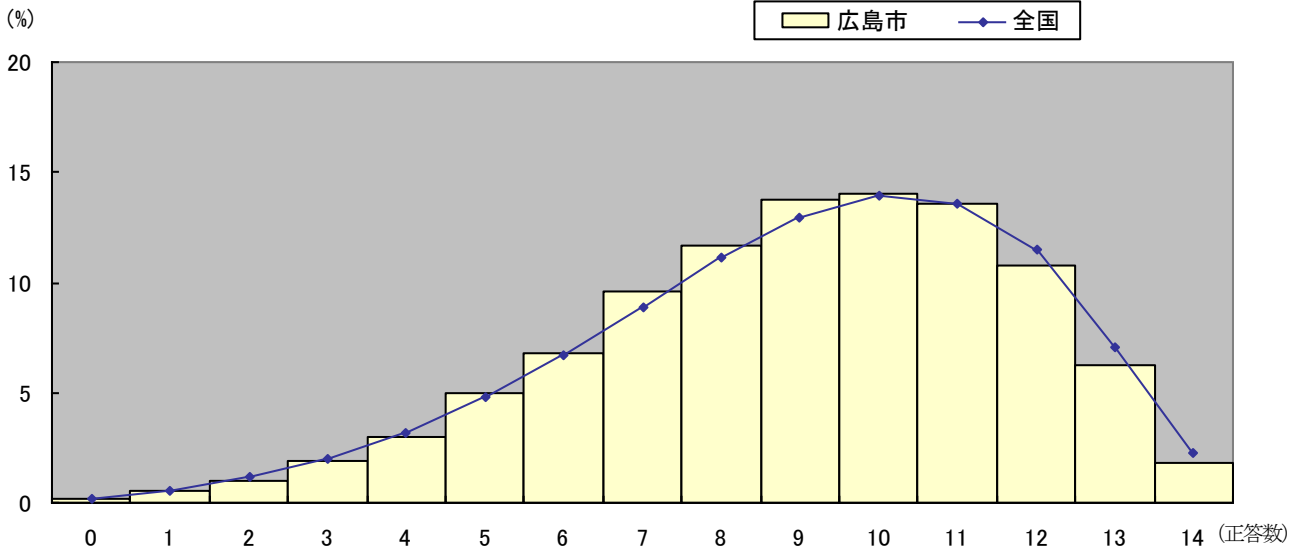


【中学校国語】

国語

【正答数の分布状況】



【学習指導要領の内容ごとの定着状況】

学習指導要領の内容		平均正答率(%)	
		全国	広島市
教科全体		64.6	64
関心・意欲・態度		56.0	57.0
話す・聞く能力	話すこと・聞くこと	79.8	79.8
書く能力	書くこと	57.1	58.8
読む能力	読むこと	48.5	48.1
知識・理解・技能	伝統的な言語文化・国語の特質に関する事項	75.1	72.0

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
選択式	63.9	63.0
短答式	74.4	72.5
記述式	56.0	57.0

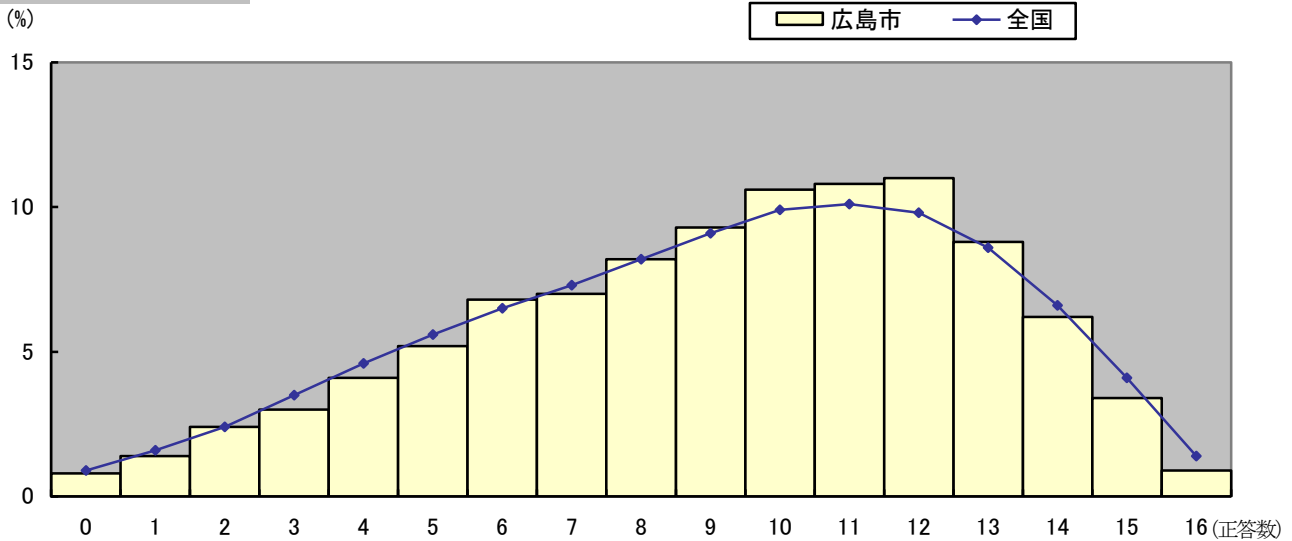
定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均をやや下回っている。
- ◆ 分布が右よりの山形であり、学習内容はおおむね定着していると見られる。
- ◆ 「話すこと・聞くこと」、「伝統的な言語文化・国語の特質に関する事項」の平均正答率はそれぞれ79.8%、72.0%であり、学習内容はおおむね定着していると見られるが、相手や場に応じて敬語を適切に使うこと（正答率：33.7%）に課題がある。
- ◆ 「書くこと」については、平均正答率が58.8%であり、書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと（正答率26.0%）に課題がある。
- ◆ 「読むこと」については、平均正答率が48.1%であり、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと（正答率：19.1%）に課題がある。
- ◆ 問題形式別では、選択式、短答式は全国平均をやや下回っており、記述式は全国平均をやや上回っている。

【中学校数学】

数学

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)	
	全国	広島市
教科全体	57.2	58
数と式	64.9	66.1
図形	51.4	52.3
関数	56.4	55.7
資料の活用	53.8	53.5

【評価の観点ごとの定着状況】

評価の観点	平均正答率(%)	
	全国	広島市
見方や考え方	41.1	41.8
技能	77.7	78.1
知識・理解	65.6	65.7

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
選択式	52.4	52.2
短答式	70.5	70.9
記述式	35.0	35.7

定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均とほぼ同じかやや上回っている。
- ◆ 全国平均とほぼ同様に、分布が右よりの山形となっており、学習内容はおおむね定着していると見られる。
- ◆ 「数と式」については、正答率は66.1%で、学習内容はおおむね定着していると見られるが、数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができること（正答率：31.8%）に課題がある。
- ◆ 「図形」については、正答率は52.3%であり、平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができること（正答率：46.3%）に課題がある。
- ◆ 「関数」については、平均正答率が55.7%であり、与えられた表やグラフを用いて、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること（正答率：26.3%）に課題がある。
- ◆ 「資料の活用」については、正答率が53.5%であり、相対度数の必要性和意味を理解していること（正答率：35.7%）や、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができること（正答率：9.1%）に課題がある。
- ◆ 問題形式別では、選択式と短答式は全国平均とほぼ同じで、記述式は全国平均をやや上回っている。